

公益社団法人沖縄県理学療法士協会

令和7年度定時総会議事録

1. 開催日時：令和7年6月14日（土） 受付13：30～ 総会14：30～16：55
2. 開催場所：おもととよみの杜（豊見城市渡嘉敷150番地）
対面およびWeb会議システム（ZOOM）
3. 総会次第
 - (1) 立津 統 副会長が開会を宣言した。
 - (2) 沖縄県理学療法士協会 会長 末吉 恒一郎 氏が開会の挨拶を行った。
 - (3) 参議院議員 理学療法士 田中 昌史 氏 によるビデオメッセージ が放映された。
 - (4) 議長及び議事録署名人の選出
司会から議長の立候補を募ったところ、松川英一会員、太田祥平会員の両氏が立候補し、参加者の挙手にて承認された。続いて、議事録署名人立候補を募ったところ、安室真紀会員、古堅聖人会員の両氏が立候補し、参加者の挙手にて承認された。
 - (5) 総会出席者数報告
議長は、本日の出席会員数および議決権数について、久高将臣事務局長に報告を求めた。久高将臣事務局長より、本定時総会のすべての決議事項において、必要な定足数を満たしている旨が報告された。
 - ・正会員数：1,425名
 - ・出席正会員：962名（出席41名、委任状出席529名、議決権行使書392名）
 - (6) 議事の進行および結果

第1号議案 令和6年度事業報告に関する件

第2号議案 令和6年度収支決算書に関する件

末吉恒一郎会長より、議案書を基に総括報告が行われた。

続いて、久高将臣事務局長より、議案書を基に令和6年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録について報告が行われた。

その後、千知岩伸匡監事より監事監査報告の説明が行われた。

松川英一議長は、第1号議案および第2号議案について会場から質問や意見を求めた。

第1号議案についての質疑応答

●質問（城間会員）：沖縄県理学療法士連盟との連携強化について。当法人は特定の法人との連携強化については違和感があり、記載することで選挙活動に繋がるリスクがあるのではないかと思いますので検討をお願いしたい。

・回答（末吉会長）：公の文章の中で表記するのは慎重にする必要があったと反省している。今後は慎重に対応していく。

●質問（城間会員）：政策活動について。県の医療政策課から意見を求められる機会があり政策企画部を立ち上げたところであった。政策活動推進委員会がある中で、業務のすみわけや整合性についてご意見いただきたい。

・回答（末吉議長）：従来、県から意見を求められた際に情報収集する機関がなく、理事や支部長からの収集にとどまっていたが、より多くの会員からの意見を集めていくシステムを構築する必要があると認識している。現状、政策活動推進

委員会があるが、少人数で活動をしており他の事業との兼ね合いから現時点では対応が難しい状況。そこで事務局内に新たな機関を新設し政策提言を取りまとめる新たな機関を立ち上げることで、将来的には協会のシンクタンクとしての機能を果たす組織に発展させていきたい。

松川英一議長は第1号議案の採決を求め、
賛成 961 個、反対 1 個
となり、賛成多数にて承認された。

第2号議案についての質疑応答

●質問（城間会員）：

①**貸借対照表の正味財産について**。研修会収入と受託事業費が上がっているのにもかかわらず期末残高が70万円のマイナスになっているのが気になる。

特に**受託事業への意見**として、受託事業を多く受けていることはもっとアピールしてもいいと思うし、報告も独立させて写真なども用いてながら会員の活動を示したほうがいいと思う。

②**旅費交通費の増加について**。144万円の増額となっているが、事業に対する影響を把握するため、構成比の算出を行い、交通費の割合が大きい場合は事業内容の見直しを検討する必要があると思われる。構成比の報告をお願いしたい。

③**管理費を含めた経常費用計が大幅に上回った件について**。当初の予算についてどうだったのか、予算が上がるのであれば途中で補正予算が組めなかったのか、月次監査があれば事業見直しができたのではないかと確認させてほしい。

・回答（久高将臣事務局長）：

①受託事業の事業報告の見える化が必要と認識していたので、ご提案について感謝する。

②月次監査の必要性は感じているが、事務所での処理が追い付いていない実情もある。報告書の提出を事業月お願いしているが、作成者も仕事との両立等で提出が遅れることもあり管理者としては反省点。また、監査は監事にも入ってもらい確認しながら進める必要がある。予算オーバーについては、本来は事前に報告し補正予算を組む必要があるが、実際には事後報告になっていることが多くガバナンスの点では気になるところ。職場では事前報告が実施されていると思うので当協会内でも定着させていきたい。

●質問（城間会員）：**貸借対照表について**。法人として流動資産について、現金預金として3,160,635円のマイナスという35%減と大きな数字なのが気になる。これをどのように考えているのか教えて欲しい。

・回答（久高事務局長）：コロナに伴う預金手続きのミスがあった。公益事業については黒字を出していけないが、当初余った予算を振り分けで公益事業に振り分けてしまった。解釈違いでフローの動きと会計が違っていることを県から指摘されるまで3年ほど気づかなかったため、清算するために動いている。もう1点として、黒字を作らないようにしていたが、公益法人改正に伴い事業1年分は預金できることに変わった。継続的に事業ができるようにしていくことが健全と考えている。

●質問（城間会員）：**次の積み立てについて**。現預金については県や国も明確に示さないと思うが、管理については2、3か月に目安でやっていたと思うが明確な目標があるのは

いいと思う。特定積み立てについては柔軟に対応できるようになってきているので、次の積み立てについて構想はあるのかお聞きしたい。

・回答（末吉会長）：現在当協会事務所は駐車場もなく会員も立ち寄りにくいため、会員が立ち寄りやすい立地への移転なども考えて積み立てできればと考えている。

・回答（久高事務局長）：現時点では、移転費用にかかる金額を積み立てしている。以前の事務所は3階にあり、事務員や来訪者に負担もあったため、現在の場所へ移転した。移転時の費用230万円を目標に積み立てを行いつつ、今後の方針については、会員の意見を伺う場を設けながら進めていきたいと考えている。

松川英一議長は第2号議案について採決を求め、

賛成 961 個、反対 1 個

となり、賛成多数にて承認された。

第3号議案 令和7年度事業計画に関する件

第4号議案 令和7年度収支予算に関する件

末吉恒一郎会長より議案書を基に総括計画や令和7年度事業計画の説明が行われた。続いて久高将臣事務局長より、令和7年度収支予算書の説明が行われた。

太田祥平議長は、第3議案および第4号議案について会場から質問や意見を求めた。

第3号議案についての質疑応答

●質問（安里会員）：年間事業計画と重点目標を挙げているが、どのように関連し展開していくの不明瞭なので、その辺はどのように見える化してもらえるか。

・回答（末吉会長）：重点目標の内容と実際の事業内容が実際にリンクしていない部分もある。今回は取り組みとしてまずは早めに重点目標を打ち出しプレゼンテーションすることで、各支部や理事に計画を立ててもらうようにした。実際の事業が重点目標のどれに値するのかの整合性のチェックまでは至っていないので、今後の課題にしたい。

●質問（安里会員）：組織基盤強化について。沖縄県理学療法士協会が約1500名が10年の間で変化してない。日本理学療法士協会のデータと比較して、沖縄県の会員数が約400名減少していることに懸念が示される。入退会者の年齢層や理由の分析を行い、組織基盤強化に向けて一緒に会員とアイデアを出すのはどうか。実際新人に直接意見を聞いたら柔軟な発想も出てきたので検討してほしい。

・回答（久高事務局長）：ご提案について感謝し、検討していく。事業計画については沖縄県へ提出する義務があり、実行していなければ指摘が入るので、記載しているものは実行ベースとなっている。

ご意見を頂いている件に関して、現時点では、意見を集約する場を設けることが出来ていないので、後は企画できるようにしていきたい。

●質問（喜瀬会員）：①外部理事について。理事会自体は代議員制にすれば外部理事はいらないと話を聞いているが検討したのか確認したい。②事業統廃合について。予算や事業が増えていく中で、今後事業の統廃合や予算上限を決めていく必要があると思うがガイドラインがあるのか教えていただきたい。

・回答（久高事務局長）：①JPTAについては規模が大きいのので代議員制は必要と思う。沖縄県の会員数は1,500名程度であり、代議員制の導入について慎重に検討する必要がある。代議員を配置すれば運営の支えとなるが、代議員と会員が意見交換できる場を設けることも求められるため、判断に悩んでいる。実際、今参加されている会員にお聞きしたいが、移行するべきかどうか意見を伺いたい。

・回答（末吉会長）：②事業統廃合についてはネガティブに受け止められがち。前年度の事業をただ踏襲して次年度の計画を立てていくという考えは改める必要がある。実際には継続的な活動ができていない委員会もあればニーズがあり新たに立ち上げた委員会もある。統廃合する際には事業をやらなかったことによるデメリットを考えながら慎重に進めていきたい。また、会費収入のみの依存にならないような仕組み作りも考えていきたい。JPTAからの色々情報を参考にしつつ、地域事業を進めていけるような流れを作っていく必要がある。

●質問（城間会員）：今年度の予算900万円をどう埋めていくのか。

・回答（久高事務局長）：大きな額は50周年事業で500万があげられる。残りの400万の削減方法としては、1）事業での運営スタッフの数を調整。2）旅費交通費（飛行機や宿泊の予約等）は事前にとるよう周知。3）日当の設定も九州の中では高めのためJPTA並み変更。4）県外講師の謝金も県内講師と同額へ。とした。また、月次監査を行いモニタリングするようになれば部局も動いてくれるのではないかと考えている。

・回答（久高事務局長）：末吉会長から話が合った政策企画部については、県より人材育成についての予算確保ができるかと思うので、今後も進めていきたい。色々アンテナを張りながら情報収集していくので、ぜひ皆様にお手伝いしていただきたい。

太田祥平議長は第3号議案について採決を求め、

賛成 961 個、反対 1 個

となり、賛成多数にて承認された。

第4号議案について

会場より質問・意見なし

太田祥平議長は第4号議案について採決を求め、

賛成 959 個、反対 2 個

となり、賛成多数にて承認された。

第5号議案 定款細則変更に関する件

久高将臣事務局長にて議案書を基に定款変更について及び、各項目の詳細についての説明がなされた。

松川英一議長は第5号議案に関して会場から質問や意見を求めた。

●質問（城間会員）：現状、当会理事は誰が業務執行理事で誰が平理事なのか。

・回答（久高事務局長）：当会の理事はすべて業務執行理事にあたる。

・確認：（城間会員より）外部理事は業務執行理事ではないということですね。

松川英一議長は第 5 号議案について採決を求めた。

賛成 957 個、反対 5 個

となり、賛成多数にて承認された。

第 6 号議案 定款細則変更に関する件

久高将臣事務局長にて議案書を基に定款細則変更について及び、各項目の詳細についての説明を行った。

松川英一議長は第 6 号議案に関して会場から質問や意見を求めた。

●質問（安里会員）：中部支部運営会議では新人は会費がタダのほうが入会へのハードルが下がるのではないかと意見が上がった。今回の変更に対して沖縄県理学療法士協会としてメリット・デメリットはあるか。

・回答（久高事務局長）：デメリットとしては会費収入が減ること。メリットとしては会費を安くすることで入会率をあげること。引き下げの額については支部長会議でも意見も上げ、理事会で検討し 5,000 円減とした。

松川英一議長は第 6 号議案について採決を求めた。

賛成 956 個、反対 6 個

となり、賛成多数にて承認された。

松川英一議長は、令和 7 年度定時総会のすべて議案が承認されたことを告げた。

(8) 金城 良和 副会長が閉会宣言をした。

上記の議事およびその結果を明確にするため、本議事録を議長および議事録署名人が記名押印し、以下に記す。

令和 7 年 6 月 14 日(土)
公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和 7 年度定時総会

4. 議長および議事録署名人ならびに議事録作成者

議 長 松川 英一 太田 祥平

議事録署名人 安室 真紀 古堅 聖人

議事録作成者 伊良皆 友香

5. 出席理事ならびに監事

会場出席理事 末吉 恒一郎 立津 統 金城 良和

久高 将臣 上地 誠之 玉城 すみれ

平良 雄司 安村 大拙 當間 智史

高安 信吾 下里 真司 仲宗根 美紀

比嘉 俊文 宮里 由乃

監事 千知岩 伸匡 南部 路治